

# 黄城

Ojyo News Letter Vol. 49

CONTENTS	
特集 ようこそ先輩!!	1
会長および校長あいさつ	5
各支部総会報告	6
卒業50周年を祝う	8
黄城会総会を終えて	9
後輩からの一言	10
合格だ！優勝だ！	11
投稿	12
トピックス、お知らせ	13
会員寄付金の寄付者一覧	14
役員一覧、物故者、一般寄付金	15
事務局通信	16
発行 ▶ 令和元年7月1日	
発行所 ▶ 黄城会	
発行人 ▶ 岩松 要輔	
印刷 ▶ (株)音成印刷	

## 特集 ようこそ先輩!!

## 演題 「鏡」と「窓」

横田 真理也 氏

### Profile

#### 略歴

小城高等学校 昭和48年度卒業（高校26回卒）  
 学習院大卒業後、ソニー(株)入社。主に業務・放送機器分野に従事。ドイツ現地法人駐在後、地域統括会社（イギリス）に赴任し、ロシア・東欧・中近東・アフリカ地域の責任者。その後、中国地域の同部門責任者として北京赴任。帰任後、金融系子会社の社長就任。  
 2016年3月退任後、創業支援のコンサルタントとして活動。



## 特集

ご紹介いただきました、横田真理也です。

まず、自己紹介をさせていただきます。真理也、珍しい名前なのでよくクリスチャンかと聞かれますが、家はコテコテの仏教です。実家の墓は、小城の三間寺にあります。名前の由来は、正に字の通りで“真理”也です。実家は小城町岡町にあり、小城高までは徒歩7分。朝ドラを8時25分までみて、遅刻すれすれで朝のホームルームに駆け込むというような至極のん気な高校生活を送っていました。（実際は、間に合わない事が多く、遅刻が多すぎて父兄召喚になりそうになり、担任の先生を拝み倒したこともありましたが。）大学は学習院大学に進学。卒業後ソニーに入社し、主に放送業務用機器分野に従事してきました。ドイツ・イギリス・中国へ赴任、マーケティング・事業企画分野

の統括職、ソニーの子会社・ソニーと他社の合弁会社の経営者を経て、金融系合弁会社の社長を務めたのち、3年前に退任し、現在は会社を興そうとしている人たちの創業支援をするコンサルタントをしています。

今日は多様な職種・業種・民族とのビジネスを通して得る事の出来た経験・失敗を通しての反省・教訓を、お話することで少しでも皆さんの今後に参考になればと願っています。

### やれば出来る！

昨日、久々に高校を訪れて私の高校時代を思い出していたのですが、本はよく読みました、あまり深く考えずよく遊んでいたなと思います。今でもその時の経験、友人たちとのネットワークは貴重な財産であり感謝しておりますが、自慢できる話は殆どありません。間違いなく言える

ことは、あまり勉強しなかった。もっと正確に言えば“いっちょん勉強しよらんかった。”成績の良い人は当然いましたが、“あがん勉強しおらすもん成績のよかとは当たり前”、“おいでんがんばあざいー、、”今から思えば変な自信（根拠のない思い込み）があった気がします。“おいでんがんばあざいー、、”＝“やれば出来る”は、“やらなければ出来ない”と同じ意味です。“なし分かいきったことば、言いよらすばい。”と思われる方も多いと思いますが、後から思っても遅すぎる事が多かったと今つくづく実感しています。当たり前ですが、やらなければ出来ないのです。“やれば出来る。”と思っていても、実際には“やっても出来ない事があります。何故でしょう？やり方が悪い場合がそうですね。やり方を変える必要があります。時期が悪い。いろんな理由で、

タイミング的に今は出来ない事もあるかと思いますが、この二つは、やった事でその事が確認できたわけですから、大きな前進です。厄介で、一番多いのは、本当はやる気が無いのにやっている振りをしている場合です。本気でやっていないのでそれは出来ないですね。結局それは、時間の無駄。何故に本気になれないのか。それが出来なくても問題ない場合は構いませんが、必要なことであれば、代替策を考えなくては。野球のピッチャーで120kmのスピードで投げている人が、150kmを狙っても、簡単にはできません。と言うより、出来ない事がほとんどです。ではどうするかと言えば、コントロールを良くしたり、変化球を覚えるはずで、150kmを出すことは目的でなく、打者との勝負に勝つことが目的なので代替案を考えるはずで、私は、この簡単な考えに入社してから気付きました。

卒業と同時に、ソニーに入社したのですが最初は劣等感の塊でした。何故かといえば、出来ない事だらけだったからです。企画部に配属になったのですが、企画⇒商品企画を連想していたのですが、私の担当（というより使い走りの小僧でしたが）は事業企画、経営企画の分野で統計学の基礎知識が必須の業務で、算数は出来ても数学は数ⅡBで挫折して以来殆ど接していない分野だったので。更には、国際電話も怖かったです。それなり英語は出来るつもりでいたのですが、電話でネーティブの英語は聞き取り能力ゼロの状態です。そこで、内線電話には対応しても外線は出来るだけ出ないように逃げていました。運悪く電話に出ると、絶望的な気持ちになりました。やっていないので、出来ないのです。正に、劣等感の塊でした。本当に最初は転職も頭をよぎりました。幸いだったのは、とても忙しい部署で、小僧は小僧なりにやる事が沢山あり業務に忙殺された事と、出来ない事を素直に認める事が出来た事だと思います。統計は出来ないので、通信教育を始めました。国際電話についても、周りを眺めると英語が得意でない人も相手の話を自分なりに理解できる単語に置き換えて要点を抑えていました。私は、英語のできる人のまねをして格好良く会話しようとしていた

のかもしれませんが。変な自惚れがあったのか、出来ない事をやろうとしていたのです。そこで、英語の勉強を（職場での経験が一番大きかったのですが）始めました。忙しい部署でしたので、出来の悪い新人でも戦力を育てようとした職場の環境にも支えられたわけですが、今振り返れば、出来ない事を認める素直さを持てた。それと、若干自慢話になりますが、叱られ上手だった気がします。叱られ上手、これは言い訳をしない事に尽きます。状況・原因の説明は大事なことです。責任を他の人（事）に当事者がすると、周りがウンザリする事が多いようです。今思うと、入社早々に劣等感を持つことが出来たことが、私の社会人生活に逆にプラスの作用をもたらしたと言えます。

## 失敗は宝の宝庫

“劣等感を持つ”、必ずしも悪い側面だけではないと思います。劣等感を失敗という言葉に置き換えると、もっと理解して頂けるかも知れません。失敗は認めなければ、単なる失敗で負の側面しかありません。残念なことに、多くの場合のこのケースで終わる事が多いのです。それ以上に多いのが失敗を恐れて挑戦しない事が多々あります。何故でしょうか。失敗すると失うものが大きい場合。これは、理解できます。得るもの・失うもの・成功する確率このバランスで判断する事は、社会に出てよくある事です。しかし、若い時に失うものは、限られています。その機会を逃すことの方が、失う物が大きい場合が多々あります。私の経験では、失敗すると恥ずかしい所謂“チャーがつか”の気持ちで挑戦する事をためらったと思います。恥ずかしい“羞恥心”、一般的には年を取るとともに感性が鈍化するようですが、法的・道徳的・倫理的観点から羞恥心を覚える事はやらない方が良いでしょう。それ以外の場合、結果に対して恥ずかしいと感じる必要はまったくないのです。それよりも機会を失うことの方が、もったいない事が大きい。若い時にしか経験できない事が多々あります。もっと悪い時には、失敗を隠そうとします。アメリカの文化人類学者ルース・ベネディクトの“菊と刀”の中で、“恥の文化”、“罪の文化”

という記載があります。日本人は外（他人）の視線を気にする。西欧人は、内（内面の価値判断）を基準にする。文化人類学的な評価は別として、面白いと思うのは、“恥だから隠そうとする。（或いは原因を自分の外側に求める。）罪だから教会で懺悔して許しを請う。”とも理解できます。失敗を単なる失敗で終わらせなく、改善の一步に繋げる為には、認め、結果を評価し、原因解明、教訓を得るそのプロセスが大事です。誤解を恐れずに言うと、どうぞ沢山失敗して下さい。放置せず、教訓を得てください。

## 言葉は道具・文化

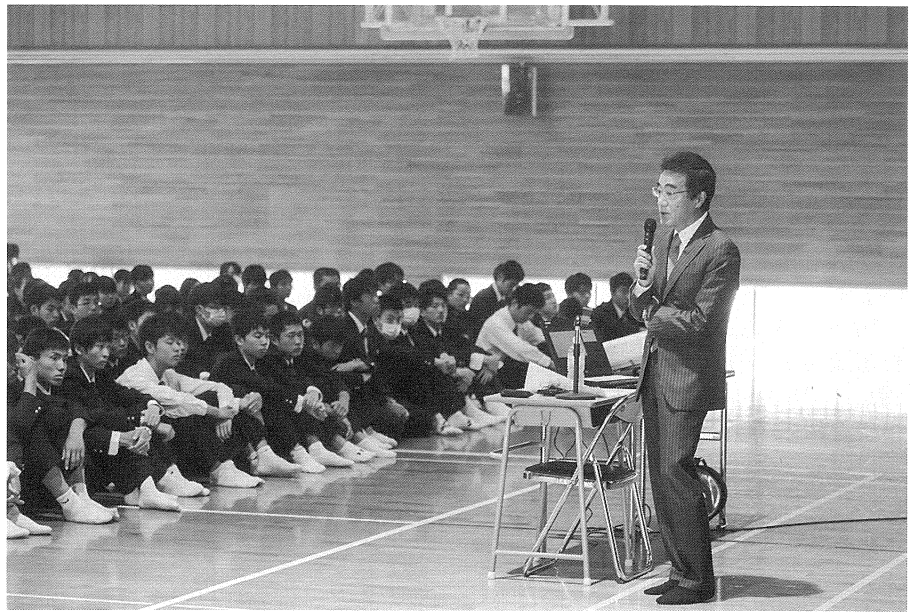
簡単な英語フレーズに衝撃を受けたことがあります。大学時代に友人と二人で当時流行っていた“バックパック族”（鞆一つで旅する。）で2か月ほど欧州を貧乏旅行した時にローマのテルミネ駅（中央駅）で汽車の予約をする為にイタリア語でどういえば良いかイタリア語の会話本を片手に緊張して列に並んでいました。今なら自動翻訳機で簡単にイタリア語に翻訳できるのでしょうが。その時我々の前のアメリカ人が、“Who can speak English?” と窓口の係員に聞いたのです。簡単な英語ですが、少なからず驚きました。我々が日本語で「誰か日本語出来る人いますか。」と聞くのと同じではないのか、アメリカ人は若干傲慢では、と思ったりしたものです。結局彼らは、（係員が英語を理解していたとは思えなかったのですが）英語で押し通し用件をすませました。我々の番になってイタリア語会話辞典と首っただけで話しましたが中々通じません、焦った私はジェスチャー交じりの佐賀弁丸出しで一生懸命説明しました、するとどうしたことか我々の意思が通じて無事汽車の予約が出来ました。その後、フランス、ドイツ等の当時比較的英語の通じにくい場所では、佐賀弁で尋ねるのが私の役割になりました。（友人の所謂標準の日本語より何故か私の佐賀弁の方が意思の疎通がうまくいったのです。）その時感じたのは、言葉は目的ではない。伝えるための手段なのです。

英語って何でしょう。一般的には、イギリス人、アメリカ人が話すBritish.Americanに分けられますが、日本語に方言があるように、オース

トラリア人、スコットランド人、ウェールズ人のそれぞれの英語と多様な英語があります。生粋の東北弁を我々が理解できないのと同じように、彼らの英語を理解するのはかなりの慣れが必要です。それ以外にも中国語、ポルトガル語、マレー語が混在したPidgin English、それに、私が話すJanglish。無論、Britishにせよ、Americanにせよ綺麗な言葉で話せた方がよいのですが、(私の場合、Janglishが改善しなくて今でも苦労していますが、、、) 言葉は道具です。伝える、或いは聞き出す為の道具です。伝える事・聞きたい事があるか伝える強い意志があるかが重要だと思います。色々な英語がある、代表例としてオーストラリア英語の有名なジョークを一つご紹介します。

オーストラリア英語では「日」を表わす“day”をダイと発音します。We are going today. (今日行くよ。) オーストラリア人の英語では、We are going to die. (今から死ぬよ。) に聞こえます。

言葉は道具ですが、本当の意味での言葉の勉強はその言葉の背景(歴史・文化・宗教等)勉強する必要があります。一例を紹介します。“清水の舞台から飛び降りる。”思い切って大きな決断をする時に用いられますが、これは江戸中期に流行った表現です。“願ひ事がある人が、清水寺の崖から飛び降りて意識があれば願ひが叶う。死んでも極楽浄土に行ける。傘を持って飛び降りて生きていれば、思い人と結ばれる。”と言い伝えられて流行ったものが伝わったと言われています。では、これは英語で何と云うのでしょうか？ 色んな言い方があるのですが、似ている表現に“Cross the Rubicon.”があります。この表現は、ローマ帝国まで遡ります。イタリア北部アドリア海に流れるルビコン川、当時この川以南に軍隊を進める事は、禁じられていました。それをカエサルは元老院の命令に背いて渡ってしまいました。彼は、重大な決断をした訳です。この状況を現す有名な言葉に“賽は投げられた”があります。日本人にとって英語が出来る為には国語力、歴史・文化に対する理解が必要になります。コンサルタントとして、インバウンド向けのビジネス起業のお手伝いをする事がありますが、海外から訪れる観



光客の日本文化理解は思っている以上に高く、逆に日本人が日本の良さを教えられるケースがあるぐらいです。

### Give me \$20.

この言葉或いは類似の言葉は、いろんな国で何度か経験しました。1990年代の旧ソ連邦の崩壊時にモスクワの空港の入国審査の係官の女性から、こう書かれた紙切れを渡されました。アジェルバイジャンの首都のバクーの空港で手荷物検査の列で待っていた時にも同様の経験をしました。大体、空港等の公共施設で現場の役人に求められるパターンです。単に賄賂を請求しているだけですが、公務員に公然と露骨に要求されたので、驚きを禁じえません。 "\$20"渡したか、答えはNoです。何故？実は、引っ掛けのケースがあるのです。賄賂を渡さなければ、入国審査、通関に時間がかかるだけです。引っ掛けの場合 "\$20"渡してしまうと贈収賄の犯罪者になり、もっと大きな賄賂を要求される事があるからです。実際におとり捜査をやっていた国もあります。もう一つ驚いた英語のフレーズがあります。

“Let you know my partner.” (パートナーを紹介するよ。) これは、ごく普通の表現ですが、その後の展開に驚きました。ロンドンで担当地域の主要スタッフが集まったクリスマスパーティーで、オランダ人のスタッフとの会話の中でこのフレーズが出てきました。190cm程ある大柄で、性

格もよく、有能なスタッフで、“会話の中で“彼女紹介するよ！”的なものだったので、この大男に似合う彼女はどれくらいの身長なのか、オランダ人は大きい人が多いので彼女も大柄だろうなと思っていたのですが、紹介されたパートナーは南アフリカ出身の2mはある大男、しかも彼も私のスタッフだったので。所謂“ゲイ”だったのです。今でこそLGBTとして性的マイノリティーは世の中に認知されていますが、当時はそんな状況ではありません。当時、私はロシア・中欧・中近東・アフリカの地域責任者として、担当地域内の10か所程の支店を通して統括しており国ごとの国民性の違いを肌で感じておりましたが、自分の想定を超えた事を身近で体験して驚きました。

“自分の想定を超える。”つまり自身で枠をはめていたのです。当時、規模の違いはありましたが私は50か国近くの国々と商売を行っていました。私が実際に赴いた国はその半分程ですが、各国の経済的・政治的そして宗教的状况は千差万別の状況でした。そして混沌としていました。皆さんの時代は、それにスピードが加わって所謂グローバル化が加速されてくると思われます。自分が理解している世界を超える事が多々あると思います。どう対応するのか、それにはコミュニケーション力を高めるのが一番です。先ほど申し上げたように、英語、言葉は道具です。英語に限らず言葉は、円滑なコミュニケーションの為の道具です。

では、コミュニケーションとは、何でしょう。

### コミュニケーション

辞書には、コミュニケーション情報の伝達・交換と記載されていますが、基本的な機能は、[人を理解する事]と[人に理解してもらおう事]になると思います。

“聞き上手は、話し上手”よく言われる通り、一番大事な事は、聞く(聴く)力です。では、聞く力とは、相手や相手の話を尊重する、相手の話に対して共感する事で、共感するとは、賛同する事とは違います。では、どうすれば聞き上手になれるのでしょうか?・先入観を持たない・相手の立場を理解する・感情的にならない、この三つが大切です。嫌いな人や自分とは考え方の異なる人と話すとき、最初から否定的な気持ちで聞く事はよくあります。時には、外観や立場の違いだけや思い込みで相手の話を最初から否定的に聞く事があります。所謂、高学歴(良い大学出身)、知識豊かな人と数多く接してきましたが、そこで感じたのは、本当に頭の良い人とは人の話を聞き出した上で、上手くリードして自分の意見を相手に納得させる事の出来る人の事だと実感しております。現在、コンサルタントして活動する中で色々な人と話をしますが、上手に話を聞き出す事の難しさを痛感しています。自分の経験則とは全く異なる立場の人の話を聞く時は大変ですが、この3点にいつも注意しています。

創業者(新しく事業を起こそうとしている人)の事業計画策定のコンサルをする時に必ず質問するのが、“Vision”辞書では、視力、視界、先見性、洞察力等と記載されていますが、経営学では基本的理念と訳する事があります。簡単に言うと自己実現の考え方です。

「自己実現」アメリカの心理学者マズローが欲求段階説で唱えたものが、現在は経営学でモチベーション、リーダーシップ、マーケティング論で研究されています。マズローの欲求段階説とは、生理的欲求(食欲、睡眠欲等)、安全欲求、社会的欲求(組織に帰属)、尊厳欲求(褒められたい)の後に、自己実現欲求がくるとされています。マズローは、人間はすべ

ての欲求を満たす事で<人間本来のありのままの姿>になる。この人間本来の姿になっている事を<自己実現>と言います。つまり、自己実現は結果でなく、状態を言います。それは、どのような状態なのでしょう。か。・先入観がなくありのままに物事を捉える事が出来る・客観的で判断力があり、感情的にならない・超然としていて不運に悩まない・他人を助ける事に幸福を感じる・他人と自分を尊重できる・勇気があり失敗を恐れない・周りの意見に流されず、自分で意思決定が出来る。このことから<自分のしたいこと=社会貢献>になっている状態が自己実現と定義されています。ただ、見方を若干変えると、自分に自信を持ち、品のある(品格のある)生き方をしている状態ともいえます。昨年スパーボランティアの尾島さんが話題になりました。彼の生きざまは正に対価を求めない社会貢献そのものですが、皆が彼と同じことが出来るわけではありません。又、尾島さん自身もやる事の規模、注目度、他人の評価など意識したことはないと思います。それでは、こうした正に品格のある生き方をするためにはどうしたらよいのでしょうか。

### 『鏡』と『窓』

私は、『鏡』と『窓』を薦めています。『鏡』は、自分自身を見るときに使います。『窓』は、外(他人・周りの状況)を見るときに使います。当たり前の事ですが、どの状況でどちらを見るかで大きな違いが出てきます。よくあるパターンは成功した時

(好調な時)には鏡を見て、俺のあのアイデアが良かった、俺があれだけ頑張ったのが良かった、俺のあのパスが良かった、というように要因を全て自分の手柄にし、失敗した時は窓の外を見て俺のアイデアは良かったのだからあいつのやり方が悪かった、俺は頑張ったが他の仲間の頑張りが悪い、パスは良かったが誰も走っていなかった、社会が悪いと言い訳をする。無論、成功の要因には本人の努力はあるのですが、重要なのは成功を可能にした要因を確認する事です。失敗の原因は、外的要因にある場合もありますが、その時に自分がどう対応したか、検証する必要があります。その観点から私は、全く逆の見方をする事を薦めています。成功した時には窓を見て、失敗した時には鏡を見るという姿勢です。過去と他人は変えられませんが、自分と将来は変える事が出来ます。自分が変わる事で他人が変わる事もあるでしょう。過去を変える事は出来ませんが、将来によって過去の評価が変わる事はよくある事です。皆さんには、これから先、長い人生があります。変える事の出来ない過去は、皆さんの総人生のまだ僅かです。皆さんの長い将来は、皆さん自身の手で作る事が出来ます。どうか、失敗を恐れずに挑戦して結果を正しい方法で評価して教訓を得て、素晴らしい将来を手にして下さい。

“JDI”最後にこの言葉を皆さんに贈りたいと思います。 JDI “Just Do It!”

ご清聴ありがとうございました。





## 黄城の故郷から

黄城会会長  
岩松 要輔

令和元年度を迎え、全国各地の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。ここに同窓会会報「黄城」第49号が完成しましたのでお送りいたします。

母校に南接する小城公園は、初夏の候となり、樟の若葉とツツジの花に彩られています。

常日頃、黄城会の活動にはご支援、ご協力をいただき、感謝いたしております。黄城会は明治38年8月に「会員相互の連絡を図り親睦を厚くし兼て後進を奨励する」を目的に掲げ旧

制小城中学校同窓会として発足し、その後120年にわたり活動が続けられてきています。

昨年度の支部総会へは、永田彰浩小城高校長、福島倫平前教頭、渡辺晋一郎事務局長と共に七田副会長、川副副会長、井手副会長、外尾事務局長と手分けして出席させていただき各支部の活動の様子を見聞きさせていただきました。各支部の母校に対する熱い思いを知ることができました。

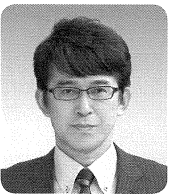
今年度の黄城会総会は、恒例の5月3日に母校の体育館において、「歩あゆみ～120年の時を超え、新たなる歴史のはじまり～」をスローガンに吉次篤司実行委員長を中心として新

高46回卒業の皆様のご尽力で楽しく素晴らしい会合となりました。

母校では、永田彰浩校長(高校30回卒業)が母校発展のため鋭意取り組まれています。

最後になりましたが、母校・黄城会の発展と同窓諸兄弟のご健康とご多幸を祈念申し上げ、会報のあいさつといたします。

(令和元年6月1日)



## 母校だより 令和の幕開け ～ 変わろう、変えようとする意思と新しい力～

校長  
永田 彰浩

本校は今年度更なる飛躍を誓って、創立121年目の新たな一歩を踏み出しました。創立130年までの新たな10年と令和という新時代の到来。新しさは躍動するエネルギーを内包しています。このように新しいものが二つ揃えばポテンシャル(潜在力・可能性)はいっそう高まり、夢や希望も大きく膨らみます。

共同通信が2～3月に実施した世論調査では、73%が平成時代は「良い時代・どちらかというが良い時代」だったと回答しています。では、令和時代はどのような時代になるのでしょうか。各界より、新時代に対していろいろな声が寄せられています。「令和とは、<sup>うるわ</sup>令しく平和を築いていく合言葉だ」(大阪女子大名誉教授：中西進)、「AIの進化によって、人間に必要な知の中身は目まぐるしく変

わる。学び続ける姿勢こそがますます必要となる」(西日本新聞社説)、「今を続けることではなく、変わることにある意味がある」(自民党：小泉進次郎)、「何よりも変わる意思と力を持った新しい日本人が求められる」(作家：高村薫)、「歴史の流れは決して途切れることはない。今後も押し寄せる巨大な変化に適応するためのしなやかさと辛抱強さが求められる」(毎日新聞社説)。

いずれも、令和時代の前途が決して楽観視できる状況ではないことを示唆しています。地球環境保護、少子高齢・人口減社会、2045年問題＝シンギュラリティ、グローバル経済と国際競争力の激化、被災地復興支援など、多くの問題が平成から令和へ先送りされていると言われてます。その殆どは、明快な解答が見い出せない深刻な課題です。今後、新時代をどのように築いていくか、私たちは難しい対応を迫られています。

先行き不透明で予測のつかない現代を逞しく生き抜くキーワードは「変化」です。私たちは、変化にうまく順応し、住みよい社会を実現していかなければなりません。その原動力は若者たちです。そこで、本校は、新時代の担い手として変わろう・変えようとする強い意思と新しい力を持った生徒の育成に力を入れています。特にオンリーワンの育成や「産・学・官」との協働や共創の推進などに積極的に取り組みます。折しも、文部科学省においては、特色重視の高等学校普通科大改革に向けた準備が進められています。本校では、5年後、10年後も元気であり続けるために、今後も果敢にイノベーションに挑戦し、教育改革期のフロントランナーとして信頼される学校づくりを目指すことを宣言します。

# 支部総会報告

## 平成30年度



### 関東支部

8月26日 パセラリゾート銀座店 180名  
小城からは母校の永田校長、七田副会長、中京支部からは梅谷副支部長にご出席いただきました。

支部総会では活動報告や会計報告等の議事は順調に進行しました。その中で、本年は役員の変更が行われ新役員が決まりました。

その後、永田校長から母校の現状のご報告とご挨拶、黄城会の七田副会長、中京支部の梅谷副支部長よりご挨拶をいただき、第1部は終了しました。

引き続き第2部の黄城の集いが、参加者の中では最長老の第6回卒の吉村様による乾杯のご発声により楽しい歓談が始まりました。総会の実行委員等の上京者を紹介して、余興として2人の歌手。第14回卒の村木佑子さん、第39回卒の江頭孝康さんに得意の喉をご披露していただき大変盛り上がりました。

関東支部総会は2016年の支部総会から若い幹事さんたちが、それまでとは違ったシステムで支部総会の運営をしてくださり、これまで参加者が減少傾向にありましたが、お蔭をもちましてここ数年は200人前後の参加者と一時期の倍に匹敵する会員が集うようになってきました。

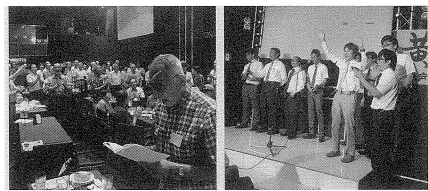
また、当日は本部総会の本年の実行委員の方々、来年の実行委員の方々にお手伝いいただき本当に助かりました。と同時に彼らの動きを見ていて、「今の若い人たちは大したものだ」と頼もしく感じました。

一方、同期会が組織化されていない回期や学年幹事が機能していない回期があることも事実で、これらの課題への対応が必要となっています。

若い人たちのパワーと先達者たちの英知の組み合わせで、益々素晴らしい「黄城会」となることを楽しみにしています。

在校中には一度も話したことがなかった同期の方たちも一度会うことですぐに打ち解けることができる黄城会の仲間たちです。これらの仲間たちが人生の中で素晴らしい心豊かな時間を満たしてくれるものと思っています。素晴らしい仲間たちに出会えた小城高校で良かった。

「小城高校～ 万歳！！、万歳！！、万歳！！」  
(関東支部幹事長 高校20回 光石 信幸)



### 中京支部

9月15日 焼き鳥「とりべる」 30名  
好天に恵まれる中、外尾事務局長、永田校長をはじめ、ご遠方から多数のご参加を賜り本当にありがとうございます。

ご来賓の皆様へ頂戴しましたご挨拶のお話の中では、「ちょいちょい」佐賀便を織り交ぜながら、懐かしくまた、とても楽しく聞かせて頂きました。

今年の中京支部総会では支部長交代の信任を頂き、久本前支部長から力武新支部長への新体制で臨むこととなりました。

余興においては毎年恒例ではあります

んけん大会で今回、有志の方のご協力で多数の景品が準備されており大変盛り上がりました。

昨年と同じ会場で、狭い中での総会で多少のご不便もお掛けしたとは思いますが全体としては大いに楽しく盛り上がった総会となりました。

2019年の支部総会はこちら数年利用させて頂いた会場を変えて、さらに皆様楽しんで頂ける支部総会を目指すところでございます。同時に新支部長の下で有意義な支部活動をして参りたいと思っておりますので、引き続き皆様のご指導とご協力を宜しくお願い申し上げます。

(中京支部事務局長 高校40回 堤 淳)



### 関西支部

9月24日 大阪産業創造館 51名  
本部から井手真喜子副会長、中京支部より力武勉支部長、母校より永田彰浩校長に来賓としてご出席頂きました。

総会準備は実行委員で、当日は佐賀45期生・46期生の皆様にご協力を頂き、支部総会を盛大に盛り上げて頂きました。

総会1部では新田支部長の歓迎の挨拶の後、本部井手副会長から本部総会・饅頭会の様子また小城の様子などお話し頂きました。永田校長より、来年度(平成31年)より5クラス制になり、生徒数は減っていくが、中味を充実させ、活気ある小城高にしていきたいという意気込みを持って指導していくお話を聞きました。

2部の懇親会では中京力武支部長より中京支部総会の様子・中京支部の現況の説明を受け、関東支部総会に出席し、規模の大きさは敵わないが、関西と共に発展させていこうと決意と励ましのお言葉で乾杯の音頭をとって頂きました。

佐賀45期生徳重実行委員長他の皆様に司会進行を手伝って頂きました。

45期生の皆さんに撮影・編集して頂いた現在の小城のDVD放映を観賞し、以前と景色が大きく変わっているところもあるが、小城の町を懐かしく感じました。

また岡本副支部長が作成・編集した関西の四季ビデオ「関西春夏秋冬」をみんなで観賞し、関西各地の四季の美しさを改めて感じ入りました。このビデオは出席者の皆様にお土産として持って帰って頂きました。

佐賀・小城ふるさとクイズコーナーでは維新150年の記念イベントで盛り上がっている中からの出題で皆でこっそり相談しての勉強会クイズを楽しみました。

卒業50年の会員の方々からは9名も参加頂き、代表して南里種司さんより挨拶を頂きました。17回卒の金子津奈男さん主導の「皆で唄いま唱歌」では小学生に返って大きな声で童謡を歌いました。

同じく17回卒の田中善吾さんより来年に向けた力強い一本締めを頂き、閉会後は45・46期生のみなさんが出席者全員を「来年も元気で総会で会いましょう」と声をかけて見送

りしてくれました。  
(関西支部事務局長 高校31回 古賀 和良)



### 関門・北九州支部

11月11日 リーガロイヤルホテル小倉 19名  
本部より七田副会長、永田校長をはじめとして本年度当番回期の徳重実行委員長・高崎事務局長、来年度当番回期の吉次実行委員長・市丸事務局長にお越し頂き、総勢19名にて開催致しました。今回は生徒さん達の校歌演奏・歌声(CD)でご参加者をお出迎えしました。

私、山口からの開会挨拶の後、七田副会長ご挨拶に加え、永田校長から学校近況、生徒さん達の様子をお伺いしました。引き続き、両実行委員長ご挨拶、議事(山口からの本年度支部運営報告、今後の運営、等)と滞りなく終了致しました。

2部の懇親会では野中栄三様(3回卒)の乾杯ご発声で開宴しました。少人数ではありましたが毎年参加して頂いている方がほとんどで、和気あいあいの中、楽しいひと時を過ごす事ができました。今回も福岡支部より岡本壽夫支部長、古賀省吾幹事長、長崎支部大石太事務局長にもお越し頂きました。また、他支部の方との交流、各方からの近況報告、恒例となっております原田京子先輩(20回卒)ご指導でのリハビリ体操実演と大いに盛り上がりしました。年々、バージョンアップする体操には皆さん始まる前から楽しみにしておりました。集合写真撮影、全員で校歌斉唱、最後には全員で母校・関門北九州支部の益々の発展並びに参加者皆様のご健康を祈念しての万歳三唱にて閉会しました。

(関門・北九州支部支部長 高校29回 山口 孝美)



### 福岡支部

10月13日 天神スカイホール 112名  
当日は天候にも恵まれ、総会開始前から同窓生の皆様にお集まり頂き、スムーズな開会となりました。

総会の部では、来賓の黄城会本部井手副会長、黄城会顧問永田校長よりご祝辞を頂戴致しました。

福岡支部岡本支部長の挨拶、古賀幹事長の支部近況報告、収支報告、監査報告が行われました。

同窓会では毎年開催されております博多弁

ラジオ体操で体をほぐされて、福岡支部顧問伊東浩平様の乾杯で同窓生ならではの笑顔溢れるご談笑がスタートしました。

余興ではフラダンスが行われ、会場は大いに盛り上がりました。全員参加のアトラクションもあり、会場はあふれんばかりの大きな熱気に包まれていました。旧中・高女の校歌斉唱もあり、改めて歴史の長さを体感した1日となりました。

最後に校歌斉唱、万歳三唱が行われ、会場の同窓生の皆様は黄城会の絆をさらに深められて、3時間に及ぶ福岡支部総会・同窓会は無事に滞りなく終了致しました。

(福岡支部総会実行委員長 高校45回 青柳信太郎)



## 長崎支部

1月27日 諫早観光ホテル八千代 30名  
古川正人支部長、外尾美好黄城会事務局局長、永田彰浩学校長の挨拶に続き長崎支部の現状と経過報告を行い、その後、前小城高校校長の藤井伸幸氏に「志田林三郎展in諫早」という特別講演をしていただきました。これは氏が明治維新150年記念事業の一環として多久市郷土資料館で開催中のものを基にされたもので、その用意されたすばらしい資料のお陰もあり、幕末に現在の多久市東多久町に生まれ、イギリス留学などを経て、明治初期に日本初の電気工学者となった志田林三郎の足跡に興味深く知ることができました。

懇親会は2回生の式島賢一さんの乾杯の音頭で始まり、2018・19年度の黄城会実行委員の挨拶、10回生松本さん、15回生永尾さんの舞踊、44回生で小城から出席の小柳・湖上ご両人の博多にわか、そして恒例の頭の体操、連想式福引きゲーム、校歌斉唱と続き、最後に4回生江頭駿治さんの万歳三唱の音頭、また湖上史貴さんには「フレー、フレー小城高」のエールを切ってもらい、3時間に及ぶ総会はめでたく終わりました。

昨年地元から出席の12名がやむをえない事情で欠席となり、再発後順調に伸びてきた出席者人数が減少したこと、佐世保市からの出席がゼロになったことなどは残念でしたが、若い人のなかに積極的な支援を表明した姿も散見し、それは大変嬉しいことでした。(長崎支部事務局 高校10回 大石 太)



## 佐賀支部

10月21日 グランデはがくれ 170名  
当日は来賓として黄城会本部より七田副会長、母校より永田校長、福島教頭、野口代表幹事、各支部より白石唐津支部長、鮎川同事

務局長、岡本福岡支部長、神代県庁支部長らにもご出席いただき、総勢170余名の参加であった。この日は、県内各地の秋の行事と重なり、総会参加者の減少を危惧していたが、ふたを開けてみると、ほぼ例年通りとなり、胸を撫で下ろした。

総会の部は、まず支部長が歓迎の挨拶を行った。その中で昨今、黄城会の同輩の活躍が、色々な分野で目覚ましく誇りに思う、と喜びを語った。次に来賓挨拶として七田副会長より、療養中の岩松会長のこれまでの功績を讃え、栄えある文部科学大臣表彰を受けられた旨、報告があった。このあと永田校長より、母校の目覚ましい活躍の紹介があった。さらにこの活躍がマスコミでも度々報道され、他県の学校からも見学が相次いでいると、嬉しいニュースも語ってくれた。

総会の議事はスムーズに進行し、約40分で終了した。

約5分間の休憩の後、懇親会の部に入った。最初に飛び入りで「維新を踊る、江藤新平」の踊りが披露され、明治維新150年を迎える地元佐賀に思いを致した。

この後、旧中卒石丸先輩の力強い乾杯の音頭により、懇親会の幕は切って落とされた。

恒例のじゃんけんゲームやお楽しみ抽選会も、46回生の楽しい司会のもと、おおいに盛り上がった。締めくくりは、これまでお蔵入りしていた小城高応援歌が、再び日の目を見ることになった。今回から音楽の伴奏も付き、みんなで声高らかに唱和して会を終えた。(佐賀支部支部長 高校16回 江里口 勉)



## 唐津支部

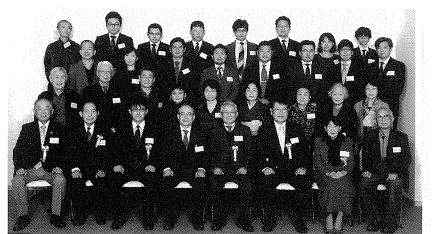
2月3日 虹の松原ホテル 34名  
本部より外尾事務局局長、母校より永田校長先生、佐賀支部、福岡支部、多久支部の役員の方に来賓としてお越しいただきました。総会では、白石支部長の支部活動の報告と今回で第8号となる支部会報を配布しました。次に来賓の皆様からは、黄城会の本部や各支部の活動の紹介、最近の学校、生徒たちの近況をうかがいました。

今回は役員改選も行い、新支部長に鮎川正博(高28回)、新事務局局長に濱村氏(高43回)が選出されました。

また、総会実行委員の方には昨年参加のお礼と、今年の総会の紹介と案内をしてもらいました。

総会の後、懇親会を行い、アトラクション等で懇親を深めました。

(唐津支部支部長 高校28回 鮎川 正博)



## 多久支部

2月10日 北多久公民館 80名  
本部からは川副副会長が、母校からは永田

校長先生、各支部の支部長等役員の皆様、そして支部相談役である横尾多久市長にもご臨席いただき、和やかな雰囲気の中での総会となりました。第30回を記念する今総会で、吉浦支部長は多久支部を立ち上げた立役者ですが、このたび平成の終わりとともに後進に座を譲られました。

ご来賓の方々より挨拶を賜り、その後、2018年総会実行委員長の徳重隆仁氏(高校45回)から、総会が無事終了したことへのお礼の言葉、2019年総会実行委員長の吉次篤司(高校46回)氏が、総会のPR及び協力についてのお願いをそれぞれ述べられました。どちらも多久出身の実行委員長であり、支部としても盛り上げていく機運が高まりました。また、次回の第31回多久支部総会で実行委員を務める高校46回の皆さんが紹介され、全員で校歌を斉唱し総会を締めくくりました。

懇親会は、新しく就任された梅崎茂弘支部長の乾杯で開宴となりました。先輩後輩交わり、高校当時の話から本総会の当番回期の話など、懇親を深めました。

総会の最後は、2017年総会実行委員長の湖上史貴氏と、飯守副支部長の新旧応援団によるエールと三三七拍子で締めくくりました。

(高校45回 高崎 和徳)



## 県庁支部

10月19日 グランデはがくれ 52名  
平成30年度から県庁支部長に就任した32回卒の神代です。よろしく申し上げます。

総会には、本部の川副副会長、母校の永田校長をはじめ多くのご来賓にご参加を賜り、懇親会では昔話や苦勞話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後は全員で校歌を熱唱しました。

さて、佐賀県では、昨年は「肥前さが幕末維新博覧会」を約10か月間開催し、県内外から224万人の皆様にご来場いただきました。ふるさと佐賀への誇りや愛着を高めるとともに、先人の志を未来へつなげていくことができたものと考えております。

今年は、第43回全国高等学校総合文化祭(2019さが総文)を7月27日から8月1日までの6日間、県内各地で開催します。「文化部のインターハイ」とも呼ばれており、母校小城高校の文化部の生徒たちが活躍してくれることを期待しています。この機会に皆様もぜひご来訪ください。

(県庁支部長 高校32回 神代芳男)





高校21回  
福地 孝司

今年創立120周年、また、令和元年というめでたく、記念すべき年に私達は、卒業50周年を迎え本当に光栄な事と思います。我々21回生は、昭和41年4月に入学、44年3月に卒業しています。

我々が在校していた頃は、1年生の教室、武道場、生徒会室や文化部の部室など木造の教室が至る所にありました。体育部の合宿場は「樟影館」と呼んでいたと思いますが木造2階建ての古い建物だったと記憶しております。唯一の鉄筋校舎最上階の図書館には青木繁画伯の絶筆油彩「朝日」が大きな顔をして、我々を見守ってくれました。そして50年経った今では当時の面影は全くありません。ただ現在の小城高校は今も残る「大楠」だけが当時を思い出させてくれます。明治、大正、昭和、平成そして令和と黄城の精神を受け継ぐ象徴ではないでしょうか。

21回生は10クラスで20回生の先輩方より1クラス少なく、定かではありませんが490名余りの同窓生だったことを記憶しております。卒業当時、大きな出来事として、東大安田講堂事件、アポロ11号が人類初の月面着陸などが思い出されます。

さて、25年前に我々も、この場所で当番幹事として総会を行ったことが思い出されます。当番2年ぐらい前に当時小城高校の教諭であった同級生の西岡強君の呼びかけで黄城会館になんとなく集まり、動き始めました。その西岡君は昨年11月に亡くなりました。

彼は小城高校の校長まで務められております。同窓会の出席の返事まで戴いておりましたのに非常に残念な事でした。彼のお陰でそれまで、あまりまとまりのない21回生でしたが、集まりの会を重ねるごとにまとまり始めました。その集まりの中で、私がなんとなく実行委員長を引き受ける事になったのです。学校時代、特に目立つ存在でもなく、成績も優秀でもなかった私ですが、みなさんのお陰で何とかやり遂げることができたと思っています。

又、思い起こせば先輩方の教えで当

番1年前には総会の案内と会員券の販売で各支部の総会を訪問しました。そして総会終了後お礼の挨拶回りです。同時に関東、関西、福岡では現地の同級生と同窓会も行いました。非常に忙しかったものです。

そして、総会冊子はB5判で表紙「小城公園から天山を見る」と会員券「校舎の絵」を20回生である北島治樹先生の勤め先でした白石高校に訪問し、お願いを快く引き受けて頂き、後日原画を頂いた事が鮮明に思い出されます。

平成6年5月3日創立95周年記念黄城会総会は「いざ集わん美しき黄城の里 朋よ温めん香しき黄城の懐い」のスローガンの下、実施致しました。黄城の集いではアトラクションはアンサンブルパルテールによるコンサートを行い、クラシックに興味がある方には好評でしたが高齢者の方にはあまり受けなかったみたいでした。総会には250名近くの同級生が集まり忙しく動き回りお陰で無事役目を終えました。

当番幹事が無事に終わり、6年間位は毎年同窓会を行い、その後は2年に1回の同窓会を行っております。その間、還暦同窓会も行いました。同窓会の幹事は各地区回しとし、小城、多久、牛津・芦刈、三日月・久保田、佐賀・大和の五地区に分け順番に担当しています。今回も、そろそろだねと、2年前に、総会後の饅頭会に集まり、組織を立ち上げ、住所調査をじっくりと行い、2年目は先輩方の資料を参考にスケジュール、案内と周到的な準備を行いました。実行委員の構成は男子5名女

子10名で女性の活躍が目立ちます。おかげで盛大な同窓会が出来ました。いい年をした集まりですから、おのおの役割をこなし準備が出来た訳です。思い起こせば2～3か月に1回黄城会館に集まり世間話など楽しいこの2年だったと思います。

今回同窓会に集まったのは95名、例年の100人超えには至りませんでした。県外37名県内58名、男子51名、女子44名の内訳でした。県外の参加者には感謝しております。5月2日の龍登園での同窓会は本当に賑わいました。同窓会の挨拶でこう申しました。「今年で69歳になりますね。皆さんどうされていますか。リタイアされて悠々自適の方、今も現役で活躍されている方、いろいろな過ごし方だと思います。私は若いと思っていましたが先日スマホで自分の顔を見たら年取ったなと思いました。みんな同じなのですね」と、爆笑でした。皆、年を取ったのです。参加の皆さんには、懐かしく、楽しく過ごして頂いたひと時だったと思います。

同窓会実行委員一同は喜んでいただき、感謝され、やりがいがあったと思っています。さらに3日の黄城の集いではステージに上がり、皆さんから祝福を受け至福の時でした。21回生一同、卒業50周年のお祝いを頂いた事に心よりお礼申し上げます。

今更ですが先輩方が作りあげてこられた黄城会、大変いいものだと思います。そしてこの年になって思うのは、小城高校を卒業してよかった、そして誇りに思うということです。





## 黄城会総会を終えて

2019年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 吉次 篤司 (高校46回)



すべては、この日のために。  
2019年度の黄城会総会は大型連休の中日でもある5月3日に例年通り行われました。

晴天で去年と違い風も弱く、蒸し暑い初夏の日和。1年かけて準備してきた集大成です。

午前7時、黄城会館に集まった仲間たちの目は真剣で、みんなの力で成功させようという気持ちで溢れていました。それぞれがそれぞれの準備に取り掛かり、体育館前のテントには、開始を前に全国各地から足を運んでくださったたくさんの先輩方の姿がありました。懐かしい友人達との再会に笑顔溢れる姿を目にしなが、私も大変喜ばしく眺めさせていただきました。

今年は、創立120周年と新元号「令

和」となる、ふたつのイベントが重なり、恥ずかしくないものにしようという意気込みをもって準備をしました。資金の面など、いくつか問題も発生しましたが、たくさんの方の協力のもと、例年くらいの総会にご準備できたと思います。いかがでしたでしょうか？

私たち46期生は、総会スローガン「歩～120年の時を超え、新たなる歴史の始まり～」を掲げ、総会準備を進めて参りました。歴史ある小城高校の歩みを止めることなく、新しい時代に何を伝えることができるのだろうか？と考える日々でした。感謝の気持ち「ありがとう」を今高校に通う我が子にも、今後何十年も伝えてもらいたい、この総会がすべての感謝の元、成り立っていることを、

たくさんの先輩方は心より感じてもらっていると思います。これから、時代の流れで少しずつ変化していくことでしょう。

47期生の皆様、次の総会に向けての準備、本当に大変だと思います。梶原実行委員長はじめ、皆様には本当に感謝の言葉でいっぱいです。「ありがとう」

歩みを止めることの無いように、これからも引き続き47期生にご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

46期生のみんな、本当にありがとう。来年も集まろう！

2019年5月3日～すべてはこの日のために～。

おつかれさまでした。

## 饅頭会を終えて

2020年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 梶原 泰宏 (高校47回)



私達47期が小城高校を卒業して早24年、46期の先輩方から、2019年度黄城会総会のお手伝い(饅頭会)を47期が担当する事、そして、翌年は、総会の運営をしなくては行けない事についての説明を受けました。職場の先輩方から、「いずれは当番が来るからね。」と聞かされていたので、覚悟はしていましたが、いざ、動くとなると、何からしようかと。「まずは、人集めだね。」と同級生数名で話をして動いたものの、中々思うように集めることもできずに、焦りばかりが先行してしまい、5月3日を迎えました。果たしてどの位の人が集まるかなあと、不安を抱えながら、集合場所の農協会館駐車場に向かうと、そこには、懐かしい仲間達の姿が。皆の笑顔を見て、ほっと、

一安心。その後も、みんなが、それぞれの役割を、嫌な顔一つせず、一生懸命頑張ってくれました。

私は皆の姿を見て、「この頼もしい仲間なら、きっと、自分達の番(2020年度)も、大丈夫。きっとみんなで頑張れる。」と確信しました。

饅頭会も終わり、最後は、雲ひとつない快晴の中、小城高の象徴でもある大楠の前で、全員で集合写真を撮りました。その写真に映った皆の笑顔は、饅頭会を全員で協力して無事終える事ができた達成感と、次年度総会に向けて、47期全員で、頑張っていこうという団結力が伝わってきました。

饅頭会を迎えるにあたり、46期の先輩方には、前日の準備から当日まで、大変お世話になりました。先輩

方の教えがあったからこそ、無事やり遂げる事ができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

いよいよ、来年は私達47期が当番です。120年を超える歴史を持つ母校、そして、時代を超え、強い絆で結ばれている黄城会の伝統を感じながら、先輩方から引き継いだ襷を、私達ができる事を精一杯やり遂げ、次の後輩達に渡す事が使命だと思っています。

先輩方には、色々ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、47期みんな、楽しい時間を作れるように、頑張っていきますので、今後とも、よろしく願いいたします。

## 高校生活 3 年間の成果

服部 涼（筑波大学人間学群教育学類）

私は、小城高校で素敵な友人や先生方とお会いすることができ、とても充実した3年間で過ごすことができました。

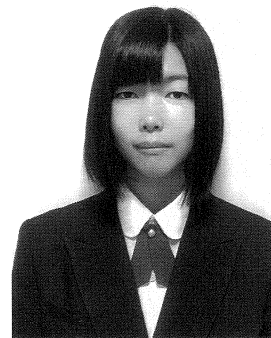
学習においては、日々の授業を第一に、分からない箇所があれば友人や先生方に質問して理解するよう取り組んでいました。お忙しい中、時間を作ってくださった友人や先生方には本当に感謝しています。また、学習内容を何度も復習することも大切にしました。初めの頃はつまずくこともありましたが、自分なりの学習方法を確立することで苦手教科を克服するなど成果につなげることができました。受験勉強でも復習が重要

なポイントになったので、早くから復習を学習の過程に取り入れることができていたことが大きな利点になったと思います。

部活動の面では茶道部に所属し、副部長を務めさせて頂きました。活動の機会は限られていましたが多くのことを学ぶことができ、一回一回の稽古が伝統的な日本文化を経験する貴重な時間となりました。更に、副部長として活動する中で部員をまとめることやスケジュールの組み立て・運営の難しさを体験することができました。

私は、この春から筑波大学人間学群教育学類に進学します。この進路

を実現できたのは周囲の方々の応援やサポートのおかげです。小城高校で学んだことを生かしながら、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを持って精一杯頑張りたいと思います。

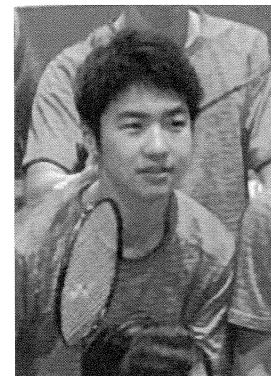


## 小城高校での 3 年間

香月 愛哉（九州大学工学部地球環境工学科）

私は小城高校での3年間で色々なことを学ぶことが出来ました。小城高校に入ることを決めた中3の頃は、ただ家から近いという理由で目標もなく何となくで小城高校を選びましたが、今ではやりたいことも明確になりました。小城高校は毎日朝特課から部活そして家では宿題もあり、とても大変な毎日だったけど、終わってみると嫌な思い出は見当たらず、色々楽しいことがあったのでいい3年間だったと思います。受験では諦めずにやる大切さを学びました。模試などでは全然目標点に届かず点数もあまり上がらなかつたりして志望校を下げて勉強をサボりたい

時もありました。でも周りの人達も同じように頑張っていたので自分も勉強を続けると最後には合格することが出来ました。先生など周りの人達にも感謝したいです。春からは九州大学工学部地球環境工学科に行きますが、第一志望の学科には落ちてしまったので、大学院で挽回するためにまた頑張っていきたいです。





# 合格だ！優勝だ！

平成30年度  
学業報告・部活動の成績



## 合格状況 ( )内は過年度卒

**【国立大学】**筑波大学1／鳥取大学(1)／広島大学1／山口大学4／愛媛大学1／高知大学2／九州大学2／九州工業大学5／福岡教育大学5(1)／佐賀大学27(6)／長崎大学6(1)／熊本大学8／大分大学2(1)／宮崎大学3／鹿児島大学2(2)

**【公立大学】**群馬県立県民健康科学大学1／長野大学1／鳥根県立大学3／下関市立大学5／山口県立大学1／高知工科大学1／北九州市立大学5／福岡県立大学1／福岡女子大学1／長崎県立大学15／熊本県立大学3／宮崎公立大学3

**【私立大学】**東海大学2／東京理科大学(1)／同志社大学2／京都産業大学1(1)／関西学院大学1／近畿大学1／岡山理科大学1／広島工業大学1／梅光学院大学1／徳島文理大学2／西南学院大学12(1)／福岡大学69(10)／中村学園大学9(3)／久留米大学59(2)／九州産業大学10(1)／筑紫女学園大学10／福岡工業大学9(4)／久留米工業大学(1)／福岡女学院大学1／日赤九州看護大学1／福岡国際医療福祉大学1／純真学園大学1／西九州大学15／活水女子大学1／長崎国際大学8／熊本学園大学2／崇城大学2(1)／別府大学3／立命館アジア太平洋大学1／その他の大学7(3)

**【短期大学】**国公立短期大学3／私立短期大学3

**【その他】**文科省外大校1／高等看護学校20(1)／医療系専門学校1／その他専門学校9(1)／就職2

## 部活動の成績

### 1.野球

○第34回唐津市長旗争奪高等学校野球大会 優勝

### 2.柔道

○第56回佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体 第3位／女子個人 優勝 荒巻絵梨奈・江口楓(九州大会・全国大会出場)／女子個人 第2位 夏秋葵・山本萌(九州大会出場)／男子個人 第3位 松尾政貴／女子個人 第3位 深江愛美・雫田知美

○平成30年度全九州高等学校体育大会／女子個人 第3位 荒巻絵梨奈

○平成30年度佐賀県高等学校新人体育大会柔道競技大会／女子団体 第3位／女子個人 優勝 荒巻絵梨奈(九州大会出場)／女子個人 第2位 山本萌・雫田知美・江口楓(九州大会出場)／男子個人 第3位 西川遼／女子個人 第3位 園田真弓

### 3.ソフトテニス

○第56回佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体 第3位

### 4.弓道

○平成30年度佐賀県高等学校弓道新人大会／男子団体 第3位(九州大会出場)

○平成30年度佐賀県高等学校弓道新人大会／女子個人 第5位 中島美里

### 5.バドミントン

○平成30年度佐賀県高等学校新人体育大会／女子団体 第3位

### 6.陸上

○第73回佐賀県陸上競技選手権大会／男子棒高跳 第3位 島崎悠太／女子棒高跳 第2位 松本紗季(大会新記録)

／女子円盤投 第6位 宮島史帆

○第56回佐賀県高等学校総合体育大会／女子棒高跳 第2位 松本紗季(北九州地区予選会出場)／男子棒高跳 第2位 島崎悠太(北九州地区予選会出場)／女子円盤投 第4位 樋渡遥香(北九州地区予選会出場)／女子円盤投 第5位 宮島史帆(北九州地区予選会出場)／男子800m 第6位 柿本雄哉(北九州地区予選会出場)

○第22回佐賀県高等学校陸上競技選手権大会／女子棒高跳 第2位 松本紗季(大会タイ記録)

○第51回佐賀県高等学校新人陸上競技大会／女子棒高跳 第1位 松本紗季(九州大会出場)(大会タイ記録)／男子棒高跳 第3位 早田俊輔(九州大会出場)／男子400mハードル 第5位 井手飛斗／男子800m 第7位 立石大喜／男子800m 第8位 柿本雄哉

○第36回全九州高等学校新人陸上競技大会／女子棒高跳 第4位 松本紗季

### 7.テニス

○平成30年度(第46回)佐賀県高等学校学年別テニス大会／1年男子シングルス 準優勝 柴田玲佑

○平成30年度佐賀県高等学校新人体育大会テニス競技大会／男子シングルス 第3位 遠藤豪

○第30回佐賀県ビーチバレー大会 女子 第3位

### 8.バレーボール

○第30回佐賀県ビーチバレー大会 女子 第3位

### 9.空手道

○第5回日本空手協会佐賀県小中高生空手道選手権大会／高校生の部 個人形第3位 中野陽輝

### 10.相撲

○第56回佐賀県高等学校総合体育大会／個人 第2位 友永健生(九州大会出場)

○平成30年度佐賀県高等学校新人相撲大会／団体 第3位／無差別級 第4位 友永健生／80kg級 第3位 友永健生／80kg級 第4位 小野木嵩浩

### 11.少林寺拳法

○第56回佐賀県高等学校総合体育大会／第2位 亀崎優大(九州大会・全国大会出場)／第2位 池田楓太(九州大会・全国大会出場)

大会出場)／第2位 池田楓太(九州大会・全国大会出場)

## 【文化部】

### 1.書道

○第43回佐賀県書作家協会展／書作家協会賞(一席) 井上春佳

○第30回佐賀県高等学校総合文化祭書道部門／奨励賞 古賀百葉 馬場彩華 池田樹 小野千潤／奨励賞 片渕奈南 岡美里 松江遥香 廣瀬由佳

○第29回書聖中林梧竹翁顕彰席書大会／特選 溝口素世／奨励賞 小野千潤 田中理恵 中尾愛

○第47回全国高校書道展／推薦 小野千潤

○第24回全日本高等学校書道コンクール／団体 第3位／大賞 中道陽代 廣瀬由佳

○第24回全日本高等学校書道コンクール／団体 第3位／大賞 中道陽代 廣瀬由佳

○第24回全日本高等学校書道コンクール／団体 第3位／大賞 中道陽代 廣瀬由佳



書道部

### 2.吹奏楽・合唱

○第59回佐賀県吹奏楽大会 銅賞

○2018年度佐賀県合唱コンクール 銀賞(九州大会出場)

○第30回佐賀県高等学校総合文化祭合唱部門 奨励賞

○第30回佐賀県高等学校総合文化祭吹奏楽部門 奨励賞

○第44回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト／銅賞 高取優花 井田あぐり 西岡樹里

### 3.美術

○第71回佐賀県高等学校スケッチ大会／準特選 武富佑佳 高田光沙 金丸晃子／奨励賞 岩本英憲 森隆希 干場彩花 江里口萌香

○第30回佐賀県高等学校総合文化祭／美術・工芸展 特選 徳永慧／準特選 高田光沙 山口愛可／佳作 池田真依 大坪結里加 小石匠

○第30回佐賀県高等学校総合文化祭／美術・工芸展 特選 徳永慧／準特選 高田光沙 山口愛可／佳作 池田真依 大坪結里加 小石匠

○第30回佐賀県高等学校総合文化祭／美術・工芸展 特選 徳永慧／準特選 高田光沙 山口愛可／佳作 池田真依 大坪結里加 小石匠

### 4.放送

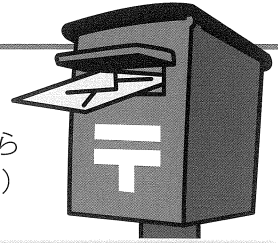
○第65回N H K杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会／最優秀賞 大家千東(全国大会出場)／奨励賞 内田早紀 馬渡菜々子

○第65回N H K杯全国高校放送コンテスト／アナウンス部門 入選 大家千東

○第65回N H K杯全国高校放送コンテスト／アナウンス部門 入選 大家千東



放送部



## 湖西路に栖みなして

(高校10回) 東 佐久良

琵琶湖の西、湖西路に栖みなして四半世紀。歳を重ねて79歳、今も仕事の現役を主人と共に続けさせて頂いている。

40歳を過ぎて修得した、看護師、言語聴覚士の資格は、ささやかな開業医院を女中頭のように働きまわる葉隠姫の生命線である。

数年前、驚き、そして心和むことがあった。私より3つ年上の女性の患者さんのお誘いで、住んでいる近江舞子より、少し南の天津に近い、小野地区老人会の、卓球愛好会に加えて頂いた。

一年余りは、毎週木曜日を休むことなく参加した。現在も休みがちであるが続いている。参加して間もない頃、私にとっては初めてだったが、湖西路の、平安中期の書家、小野道風縁の、小野神社で、恒例のお花見会が催された。

ブルーシートを敷いて、車座になって千円の仕出し弁当と、差し入れのビールなどなどで、お花見の宴は和やかに進んでいった。

十名余りの参加者の、自己紹介が始まった。すっかり顔馴染みになった60代、70代、80代のメンバーだった。自己紹介が進む中、一人の男性が、出身は佐賀県とおっしゃった。私は思わず、佐賀のどこ？と問いかけ、多久、小城高校出身という返答に、私はひっくり返りそうになり、何回卒？10回卒の答えに、ひっくり返らなかつたが、仰け反って驚き、溜め息のような、深呼吸をした。

お互いに、1年間、顔と名前を知りながら、小城高校10回生とは気付かなかつた。私は心の隅で、10回生で私のことを知らないなんて、と瞬間ふと思ったかもしれない。がそれは、お互い様だった。

観桜会参加の他のメンバーの驚きも、半端じゃなかつた。十人十色というが御一人御一人が、驚きと感動、感想を述べられた。この広い世の中で、この小野神社の年に1回の10名余りのお花見会で、予め連絡して、知らせたわけでもないのに、佐賀県立小城高校の10回の卒業生が、小さなあすなろ会という、卓球の同窓会の仲間と気付くなんて!!。と他人事なのに、わが事のように驚いて、その場を盛り上げてくださった。私共2人は、時間場所の整えられていることをいい事に、蘊蓄を傾けて小城高校を語った。

旧制の小城中学校と小城女学校が、粗末な狭いコンクリートの渡り廊下でつながれて、戦後いち早く新制の小城高校となったこと。昭和32年の在学中の頃、教室の窓ガラスが割れても、1枚80円の窓ガラスが補充してもらえず、天山嵐の寒風の中、冷たい弁当を食べたこと。その頃、映画は許可制だったが、許可されていない「野菊の如き君なりき(野菊の墓)」

をこっそり、当時小城市に在ったシネマ館、昭和館に観に行った、野球部、柔道部の同期生が、巡視中の先生に見付かり、停学処分になった。という今から思うと嘘のような話。そして恩師の先生方の仇名、オオカミ。ガンジー。ヒス。小芋(いものこ)など話に花を咲かせてお花見のメンバーに聞いて頂いた。

卓球同好会の小城高10回生のその男性の方と、私と共通の、今も交流のある同期生は、大石 太さんだった。彼は昔を懐かしむように語り出した。世界史の石丸先生の妹さん、それから英語の鮎川先生の娘さんは、ホンニ(本当に)頭の良かったもんねエ。と続いて同期、10回生の、吉町香子さん、稗田治子さん(ガンジーの御令嬢)中嶋美苗さん、堤京子さんは、ホンニ可愛かつたもんねエと自分の記憶に残る、10回卒の女性の名前を、挙げられた。

卒後、60年近く経って、湖国での黄城会10回生との、思いもかけない、感動と、心と和む出会いだった。

八十路近く、老いの坂を、一足、ひとあし登りつつ、目交に比良の山並みを、朝な夕なに眺め、祈りの中、黄城会会長岩松要輔さんのご全快を願いつつペンを措く。



### ◆思い出多い小城高の3年間

僕たち30回が小城高に入学した当時はまだ木造校舎が残ってありました。1年7～9Hは夜間の定時制と共用の2階の木造校舎であり、1～6Hは鉄筋コンクリートの4階と分かれていました。多久市立北部中学校は古い木造校舎だったので、小城高に入った当初はまた木造かと思うとやはりショックでした。3年間、中多久～小城まで月曜～土曜までの6日間は国鉄唐津線の古いディーゼル車で通う毎日でした。特に東多久を過ぎるとカーブが多く、きしみながら大きく揺れていました。試験前になると、朝は手すりにつかまりながら、試験勉強していました。放課後はよく図書館に行き、新聞や気になった本を読んだりして、その日の宿題などをやっていました。

### ◆大阪に来てから

昭和53年3月に大阪に出てきて、きれいで座り心地も良く電車の本数が多い阪急電車に乗った時は、当時2時間に1本の唐津線との違いにびっくりし、「さすが大阪は違うなあ」と強く思いました。佐賀では電車ではなく、ディーゼル車が中心で唐津線はま

だ朝9600形のSLが1往復客車を引いて、佐賀駅まで通学の高校生などを乗せて実際に走っていた時代でした。帰省した時に唐津線に乗ると、やはり3年間の小城高への通学が懐かしく思い出されます。

### ◆黄城会について

小城高を卒業して40年以上たちましたが、当番幹事の25年ごろからたくさんの同級生はもちろん、先輩・後輩の方たちとも黄城会を通じて知り合いになりましたことは、大変ありがたいことで感謝しております。少子化で子供の数も大きく減少している中、これからも小城高と黄城会のますますの発展と皆様のご多幸をお祈りいたして、今回の投稿をお開きとさせていただきます。ありがとうございました。



▲思い出の4階建校舎  
=2013年5月3日撮影

お知らせ

## 令和元年度 支部総会予定日

\* 令和元年度の支部総会開催日をお知らせいたしますのでご参加ください。  
(時間、会場等は各支部へお尋ねください)

支部名	予定日	氏名	電話
関東	令和元年 8/25(日)	幹事長 光石 信幸	043-250-6539
中京	令和元年 9/14(土)	事務局長 堤 淳	056-152-9252
関西	令和元年 9/15(日)	事務局長 古賀 和良	072-224-4680
福岡	令和元年 10/12(土)	幹事長 古賀 省吾	093-691-0755
県庁	令和元年 10月予定	幹事長 塚原 弘幸	0952-25-7322 (国入ホ・全障入ホ大会総務企画課)

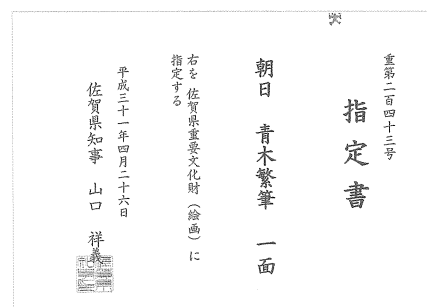
支部名	予定日	氏名	電話
関門北九州	令和元年 11/10(日)	支部長 山口 孝美	080-3182-0346
佐賀	令和元年 11/23(土)	事務局長 岸川宗一郎	0952-72-7091
長崎	令和2年 1/26(日)	事務局長 大石 太	090-6774-1144
唐津	令和2年 2/2(日)	支部長 鮎川 正博	090-4997-1372
多久	令和2年 2/9(日)	事務局長 古賀 通雄	0952-75-3629

## 青木繁の絶筆とされる「朝日」が佐賀県重要文化財に指定されました

平成22年12月22日に小城市重要文化財に指定されていた黄城会所有の「朝日」が、平成31年3月27日開催の佐賀県文化財保護審議会で「佐賀県における近代美術史を考察するうえで意義深い作品」との評価を受け、佐賀県重要文化財指定について答申されました。

平成31年4月26日に、「朝日 青木繁筆 一面」が佐賀県重要文化財(絵画)に指定され、令和元年5月20日付けで佐賀県知事から佐賀県重要文化財指定の通知とともに指定書が届きました。

これも、小城市をはじめ、佐賀県立美術館の学芸員の皆さま、関係各位のご尽力によるものと感謝いたします。



# 平成30年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧 (敬称略)

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的とした事業を行っておりますが、建築後31年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をお願いしましたところ、345人(347口)2,912,000円のご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨にのっとり有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(旧中40) 野副繁	石井(馬場)津智子 円城寺(広川)長子	西澤(岩部)圭子 南川(田中)美登里	田代(北島)典子 堤(田中)巡子	高木靖哉 深川純治	寺山(桜井)まゆみ 二部(新郷)通子	山口昌子 (高校27)
(旧中42) 川副武男	岸川郁子 須藤(東島)ミサ子	森永弘子 山田(江副)紀子	中川(稗田)孝子 丸谷(田中丸)房子	福田昭春 船津稔	原田(野口)京子 (高校21)	高田知行 永田(林田)由美 (高校28)
(旧中44) 岸川博隆	成田(山下)博子 浜田(渡瀬)幸子	吉村(犬山)米子 (高校9)	万谷(山田)千里 (高校12)	豆田泰夫 田中(船津)久子	江里口多美雄 大坪孝行	江口周二 田中博
久保剛	兵動(江里口)悦子 馬渡(早木)康子	今泉茂太 金丸盛登	池田昭欣 池田敏憲	吉浦(黒岩)恵美子 (高校17)	香月茂昭 古賀正昭	江島(三浦)伊津子 古賀ゆかり
(旧中46) 浦野武彦	吉田(犬山)迪子 (高校25)	森永瑞穂 小園(古館)カヲル	大賀一弘 大島文雄	石井隆 江頭學	高園勝男 田中政敏	坂本(肥山)瞳 杉町(古川)智子
加藤(西條)キミコ	相川直昭 江口英明	貞松(荒谷)絹代 立花(松本)壽子	小島吉晴 林義人	斉藤清一郎 坂井昇	富岡逸郎 野田雅志	寺西(井手)秀佳 平川(大橋)秀子 (高校29)
上瀧(神代)ノブ子 (高女27)	古賀弘毅 松本勲	山崎(中村)トシ子 山地(手柴)満子	江口(光石)洋子 中野(富永)登紀子	田中善吾 原田元彦	福地孝司 本村豊	志田照久 雪竹稔
森永(浜村)幸子 (高校1)	的野三千夫 森永論	匿名 佐賀市 (高校10)	中村(江口)美沙子 平野(村口)多喜子	本村清人 山口芳則	池田(貞松)文恵 大鹿(江里口)幸子	井手(音成)真喜子 志田(馬渡)三都子 (高校30)
吉田英介 (高校2)	吉村久夫 稲葉(北原)初子	岩松要輔 大石太	堀田(大槻)朋子 (高校13)	山田(高塚)慧子 (高校18)	小野(小柳)信子 島崎(横尾)さとえ	永田彰浩 [故]福山義規 (高校31)
有浦次海 竹中洋雄	萩野(小林)博子 前山博子	岡本壽夫 岸川英俊	鮎川正興 高間靖治	飯盛健二郎 大坪正明	坪川(岸川)さわ子 中島(長崎)真知子	匿名 福岡市 (高校32)
山中浅雄 (高校3)	吉村(江口)藤子 (高校7)	木下謙次 古賀政利	樋口秀利 矢代豊則	[故]中丸素明 中村博泰	藤田(堤)昭子 本村(高塚)慧子 (高校19)	大坪敏郎 (高校34)
相原一郎 北島正美	川久保洋 倉永(金ヶ江)圓宰	新郷道明 竹田雅彦	竹村(麻生)博子 古川(永野)悠紀 (高校14)	村山龍彦 大畑(下村)富子	福山(古賀)まち子 山北(川内丸)郁子	宮崎紀久 吉武(西村)千春 (高校37)
副島弘暉 森勘市	坂井勇夫 田中穰一	田代武士 典典典	貞松洋征 陣内克躬	中村博泰 村山龍彦	山田(塚本)博子 (高校22)	大場(林田)知子 (高校39)
川内野(上瀧)エミ 小柳(駄原)テル	南里辰郎 [故]庭木利秀	野中嘉彦 野口武彦	徳勝秀俊 深町宗孝	大畑(下村)富子 鶴(陣内)サト子 (高校19)	山田(塚本)博子 (高校22)	田中一典 石川(古川)洋子 (高校40)
鈴木(松田)千鶴子 千葉(宮崎)直子	野口守夫 深川光雪	松枝修三 真子公	[故]森永四郎 岩松(諸泉)則子	飯盛健二郎 大坪正明	山下哲夫 飯盛(鳥井)悦子	荒川好子 (高校41)
寺江(川原田)法子 永渕(水田)元子	水田和憲 森江武司	水田要 牟田口博司	島内(江口)智子 (高校15)	陣内良行 瀬戸口博昭	森(武富)美和子 八田(高木)淳子	飯盛宏徳 山崎(黒岩)史子 (高校43)
間野(古川)イエ子 (高校4)	井手英子 北原(秋田)豊子	太田(川原田)京子 岡本(岡)栄子	板垣(牛丸)修 糸山喜昭	村上徹 荒川(岡)由紀子	匿名 豊中市 (高校23)	濱村宜弘 (高校44)
青柳成美 江頭駿治	小林(公文)了子 西山富子	西岡(香田)敏子 森(野田)博子	七田義孝 高洲満	江里口(高着)セツ子 大塚(藤原)恭子	江頭朋彦 大家保幸	宮崎紀久 吉武(西村)千春 (高校37)
江里口勲 大坪剛弘	山口(鳥越)道恵 (高校8)	山崎(森)壽和子 山田(田中)寿美子 (高校11)	高洲満 豊田俊明	川崎(土井)幸江 坂田(鳥越)多美子 (高校20)	福島(中原)美佐子 (高校24)	飯盛(黒岩)史子 (高校43)
川久保弘 古賀渡	安藤清隆 稲童丸清人	井上通正 古賀慶順	野村輝夫 前山義昭	荒原敏雄 石田直人	江里口秀次 [故]中野良紀	濱村武志 (高校67)
中島尊之 小川(鳥田)勇紀子	大野雅央 瀧川晴雄	野口武男 久本哲義	真子義秋 宮地国雄	江里口均 岡田修	江口(高着)セツ子 大塚(藤原)恭子	濱村宜弘 (高校44)
久保(相川)洋子 幸島(山本)ヌイ子	七島義人 乗富智弘	藤尾秀賢 真子輝雄	持永(真子)正彦 岩松(村岡)春子	江里口均 岡田修	北島(上瀧)恵美子 永渕(原)幸子	江口和寿 (高校45)
長(牧野)千代子 西(川俣)智子	原口克美 秀島寛美	溝口一信 山口忠利	小村(荒谷)美代子 陣内(久我)宏子	岡田修 川久保悟	福島(中原)美佐子 (高校24)	山崎眞智子 (高校66)
増本(堀)良子 (高校5)	松田雅文 森俊之	山口忠利 麻生(野中)美智子	橋本澄子 官原(吉富)史枝 (高校16)	川原田徳治 木崎善行	匿名 豊中市 (高校23)	濱村武志 (高校67)
相澤(袋)昭彦 伊東研二	山口勝利 井手愛子	麻生(野中)美智子 稲益(野方)一子	江里口勉 岡田史一	岸川宗一郎 北島和道	三根英樹 川村(松永)久美子	濱村風沙 (本定1)
江里口雅正 七田良	大野(於保)富子 金子(日出島)京子	井本(森永)ツネ子 川島(土井)公子	加藤(堀田)寛 古賀紀昭	野田敏章 外尾美好	原(北島)久美子 (高校26)	諸富(太田)稻城 (本定6)
杉原敬人 立石博	公文(田代)益子 坂本(福山)啓子	茂田(北島)道子 島隅(早川)喜久子	小柳忠雄 寺崎(北川)操	吉本祥二 大坪(馬郡)みどり	川副春海 楠田和彦	青木(森永)タツコ 成相(藤川)京子 (本定9)
中園照彦 東島章	武富(伏原)喜代子 中島(浦郷)淑子	末田(下村)順子 (高校11)	小柳忠雄 寺崎(北川)操	小川(吉次)敏子 川辺(円城寺)直子	田中伸子 橋本(笹川)秀子	今村健一
[故]山本正之 青井(大久保)雅子				寺崎(北川)操	矢野(田中)律子	

## 令和元年度黄城会役員一覧

▷会長＝岩松要輔（高10）▷副会長＝七田義孝（高15）川副春海（高26）井手真喜子（高29）▷顧問＝永田彰浩（校長）碓剛（教頭）渡辺晋一郎（事務長）▷理事＝川副富男（高5）佐々木昇三（高7）大野雅央（高8）金丸盛登（高9）真子輝雄（高11）小柳平一郎（高12）中尾久司（高13）青柳隆（高14）

梅崎茂弘（高16）松尾剛之（高17）野田和良（高18）江口武（高19）野田豊秋（高20）坂井正徳（高21）坂井一弥（高22）古賀正人（高24）横尾俊彦（高27）井手美保子（高28）岡正幸（高30）安永正（高31）伊東猛彦（高32）水田信（高33）真崎俊夫（高34）松尾直人（高35）西岡聖師（高36）梶原聖司（高37）

北島清孝（高38）香川弘行（高39）高塚誠（高40）飯盛宏徳（高41）野田一彦（高42）西田亮（高43）渕上史貴（高44）徳重隆仁（高45）▷監事＝金丸忠（高9）福田智恵子（高26）雪竹稔（高29）▷事務局長＝外尾美好（高20）▷庶務＝山崎史子（高41）▷会計＝田代智子

## 支部役員一覧

[関東支部]▷支部長＝本村清人（高17）▷副支部長＝村上徹（高19）▷副支部長＝井手勇人（高31）▷幹事長＝光石信幸（高20）▷事務局長＝川副隆之（高32）

[中京支部]▷支部長＝力武勉（高17）▷副支部長＝梅谷雅和（高17）▷副支部長＝中嶋桂子（高25）▷事務局長＝堤淳（高40）▷事務局次長＝吉田了（高43）▷会計＝真子博行（高39）

[関西支部]▷支部長＝新田安典（高22）▷副支部長＝岡本正史（高27）▷

事務局長＝古賀和良（高31）▷事務局次長兼会計＝森山栄子（高31）

[関門・北九州支部]▷支部長兼事務局長＝山口孝美（高29）

[長崎支部]▷支部長＝古川正人（高8）▷事務局長＝大石太（高10）

[福岡支部]▷支部長＝南川武夫（高10）▷副支部長＝堺八千代（高25）▷幹事長＝古賀省吾（高26）▷副幹事長＝小林佐登子（高33）▷監査役＝辻正人（高12）

[佐賀支部]▷支部長＝江里口勉（高

16）▷副支部長＝梶原千尋（高5）金丸盛登（高9）宮原史枝（高15）▷事務局長＝岸川宗一郎（高20）

[唐津支部]▷支部長＝鮎川正博（高28）▷副支部長＝永渕明則（高16）▷事務局長＝濱村宣弘（高43）

[多久支部]▷支部長＝梅崎茂弘（高16）▷副支部長＝牛島和廣（高17）飯守康洋（高24）▷事務局長＝古賀通雄（高23）

[県庁支部]▷支部長＝神代芳男（高32）▷幹事長＝塚原弘幸（高35）

## 平成30年4月～平成31年3月までの物故者（敬称略）

（回期）氏名〔住所〕

（旧中）(32) 中川 巖〔多久市〕(38) 鳥越 豊治〔多久市〕(39) 永渕 肥佐男〔佐賀市〕(40) 北島 政雄〔吹田市〕(41) 江里口 良三〔佐賀市〕(41) 北原 戎朗〔三養基郡〕(43) 池田 満次〔小城市〕(43) 高塚 茂馬〔小城市〕(43) 安本 和夫〔小城市〕(44) 石井 順二郎〔多久市〕(45) 副島 輝安〔佐賀市〕(45) 武田 勝巳〔京都府〕  
（高女）(9) 西川 クニヨ〔小城市〕(12) 青山 みち子〔高知市〕(13) 村岡 キミヨ〔小城市〕(13) 松尾 菊枝〔多久市〕(16) 太田 あさ子〔東彼杵郡〕(16) 永田 壽子〔貝塚市〕(17) 倉富 ヒサ〔多久市〕(18) 堤 小江子〔小城市〕(18) 川副 美代子〔小城市〕(19) 中原 敦子〔佐賀市〕(19) 高園 恵美子〔小城市〕(20) 下村 倫子〔小城市〕(24) 江里口 露子〔小城市〕(25) 馬渡 伊津子〔福岡市〕(25) 吉富 三代子〔佐賀市〕(27) 手塚 綱子〔小城市〕(27) 野田 節子〔佐賀市〕(27) 平山 スマ子〔多久市〕  
（高校）(2) 井上 正昭〔多久市〕(2) 川副 博之〔多久市〕(2) 牧口 新太〔小

城市〕(3) 池田 俊正〔佐賀市〕(3) 鐘ヶ江 善吾〔小城市〕(3) 光石 直敏〔多久市〕(3) 田原 敬子〔多久市〕(3) 西村 八重子〔高槻市〕(4) 井上 正友〔豊田市〕(4) 今泉 敏子〔佐賀市〕(4) 森田 光子〔小城市〕(5) 岡本 湊〔福岡市〕(5) 小柳 平八郎〔福岡市〕(5) 陣内 日出男〔田川市〕(5) 柳川 武徳〔小城市〕(5) 古賀 操子〔相模原市〕(5) 中尾 和子〔三鷹市〕(7) 大池 幸二郎〔大野城市〕(7) 大野 潔純〔春日市〕(7) 庭木 利秀〔西尾市〕(7) 古館 博國〔浦安市〕(7) 市川 和子〔横浜市〕(7) 倉永 照子〔小城市〕(7) 秀坂 和子〔小城市〕(8) 大家 伸夫〔熱海市〕(8) 南里 幸太郎〔鎌倉市〕(8) 平山 紀正〔三養基郡〕(8) 鶴丸 宮子〔横浜市〕(8) 松尾 洋子〔小城市〕(8) 山田 幸子〔枚方市〕(9) 浦川 正平〔唐津市〕(9) 石井 喜代子〔佐賀市〕(10) 柴田 昌通〔小城市〕(10) 野村 克浩〔鎌ヶ谷市〕(10) 永川 降子〔多久市〕(11) 岡澤 ユリ子〔宇治市〕(11) 野田 チヅ子〔佐賀市〕(13) 江口 吉昭〔佐賀市〕(13) 友永

勝英〔杉並区〕(13) 野中 弘文〔佐賀市〕(13) 古川 満佐彦〔小城市〕(14) 武富利治〔小城市〕(15) 長野 光暢〔八王子市〕(16) 木戸 義信〔横浜市〕(17) 下村 法男〔豊橋市〕(17) 新居崎 信也〔横浜市〕(18) 円城寺 豊〔小城市〕(18) 北原 淳司〔杵島郡〕(18) 佐藤 三郎〔大阪府〕(18) 中丸 素明〔千葉県〕(19) 岡 勝次〔伊万里市〕(19) 田代 五男〔福岡市〕(19) 平川 茂喜〔宗像市〕(20) 酒井 恵子〔小城市〕(21) 西岡 強〔小城市〕(22) 諸泉 俊介〔佐賀市〕(23) 中野 良紀〔小城市〕(23) 松田 昭子〔多久市〕(24) 坂田 宏〔佐賀市〕(25) 圓城寺 猛〔佐賀市〕(27) 藤木 正明〔小城市〕(28) 高木 徹也〔小城市〕(30) 福山 義規〔多久市〕(31) 関川 玉枝〔佐賀市〕(32) 西 ちか子〔佐賀市〕(36) 冬野 政勝〔多久市〕(42) 下村 誠〔小城市〕(54) 江口 義浩〔佐賀市〕（定時）(本定2) 公文 武〔多久市〕(本定4) 牟田 良二〔多久市〕(本定5) 陣内 照邦〔小城市〕(本定7) 諸泉 誠一〔芦屋市〕

## 一般寄付金

（平成30年4月～平成31年3月）

佐賀支部主催第15回ゴルフコンペ 36,000円／故 松本忠雄様（旧中37回）の奥様より 10,000円／高校2回一同様 51,543円  
高校6回一同様 20,000円／高校11回一同様 5,800円／高校20回一同様（卒業50周年） 50,000円／高校40回一同様 2,300円

## 「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い

黄城会の「会費」及び「会員寄付金」の納入について、下記によりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会費につきましては、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行（郵便局）』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしております。お一人でも多くの皆さまにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

会費納入については機会あるごとにご協力をお願いしておりますが、なかなか納入が伸長せず黄城会の運営が危惧される状況になっておりましたので、平成27年度から会費とは別枠で会員寄付金のご協力をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てさせていただいております。

黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、「会費」及び「会員寄付金」の納入について、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年は、小城高等学校が創立120年を迎え、10月26日（土）に記念式典が計画されています。黄城会からは、学校の要望を受け、体育館に演台一組の寄贈を計画しておりますので、重ねてご協力をお願いします。

なお、行き違いで、すでに今年度の会費及び会員寄付金を納入していただいた方に、納入のお願いが届きましたらご寛恕ください。

### 記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度に会費を納入されている方を除きます。	※今年度に会員寄付金を納入されている方を除きます。
①会費の区分 1年会費 2千円    5年会費 1万円    終身会費 5万円	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。
②会費の振込金融機関 1年会費（2千円）は、最寄りの『ゆうちょ銀行（郵便局）』又はコンビニから振り込みをお願いします。 5年会費（1万円）又は終身会費（5万円）を振り込んでいただけたときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。	②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届けするとともに、当年度の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼を申し上げます。
※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み（口座振替）』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

### 「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

#### 【会費】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人数	1,296人	1,418人	1,439人	1,440人
金額	3,580,000円	3,820,000円	3,886,000円	3,764,000円

#### 【会員寄付金】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人数	360人	336人	345人
金額	2,858,206円	3,567,000円	2,912,000円

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

### 住所変更等の連絡のお願い

現住所を変更（改姓を含む）されたときは、黄城会事務局までご連絡をお願いします。その際には、卒業回期、旧姓もお知らせください。

『ゆうちょ銀行（郵便局）』から会費を振り込まれる方は、払込取扱票の通信欄をご利用ください。会員寄付金のみを振り込まれる方も同様をお願いします。

### 編集後記

娘の小城高校入学と同じ年に黄城会にお世話になって早いもので3年目になりました。たくさんの良き仲間たちと充実した高校生活を過ごしている娘同様、私も会員の方々と触れ合うことでたくさんの刺激をいただいています。そして今年度、息子が小城高校に入学しました。息子同様、私も1年生の心で毎日を丁寧に過ごしたいと思えます。充実した高校生活を過ごしている子ども達の姿にパワーをもらう日々です。  
 （田代）